

## あなたのまちのアクティブシニア

### 図書館ボランティアグループ

#### 「かみふっせん」(志布志市)

「かみふっせん」は、一人でも多くの子どもたちに、たくさん本を読んでもらいたい、という切なる願いのもとに、読書活動を行う有志が集まり、平成9年に結成された、読み聞かせのボランティアグループです。

読書活動を通して、会員一人ひとりの生きがいと健康づくりを推進すること、心身ともに健全な子どもたちを育成すること、よりよい生涯学習のまちづくりに貢献することなどを目的として、現在、メンバー10人で活動しています。

主な活動は、志布志市立図書館のスタッフと連携した「お話し会」での手遊び、紙芝居、読み聞かせなどです。

その他、各地の図書館や、地域の公民館、高齢者サロン、高齢者いきがい大学、福祉施設、保育園、幼稚園、小学校へ出向いて、読み聞かせや人形劇などを行っています。また、夏休みには「かみふっせんまつり」を主催し、ここで披露する人形劇は定番となっていて、多くの子どもたちに夏休みの思い出づくりのきっかけとして、大変喜んでくれています。

子どもたちの心の中にはポケットがあると言われています。一冊の本を読んで、「ああ面白かった。ああ怖かったねえ。」という一つの感動の積み重ねを、心の中の



ポケットに感動のふるさととして残してあげたい。それが私たちの願いです。

現在、コロナ禍でも、高齢者サロンを中心に絵本の読み聞かせ「手遊び」「ペーパーアート(紙人形劇)」「パネルシアター(貼り絵劇)」などの活動をしています。これまでの活動が再開された折には、一人でも多くの子どもたちが、本好きになるように、本に触れ親しむ機会を広く提供したいと思っています。

また、家庭内での読み聞かせ支援や、高齢者が施設内で楽しい時間を過ごせるような活動も展開していきたくと考えています。



〈連絡先〉代表者 山元 一彦  
TEL 080-5609-1941

### ボランティアグループ

#### 「いったんもめんと結いの会」(肝付町)

肝付町は、大隅半島南東部に位置する、やぶさめとロケットのまちです。

「いったんもめんと結いの会」は、肝属川下流から南へ海岸線沿いに広がる波野・有明地区の住民が、一緒に「地域のため」に何かしたいとの思いで活動するボランティアグループです。

活動拠点は、家主の好意により無償で貸していた空き家を地域住民で整備掃除し、平成29年3月から本格的に活動を始めました。メンバーは、60～80代の約20名です。

「いったんもめんと結いの会」は、波野地区にある権現山のふもと・轟の滝周辺などに出没したと伝わる妖怪で、グループはその妖怪にちなんで名付けられました。

主な活動に、「おかずおすそわけ」があります。

地域の高齢者や要援護者の見守りも兼ねて毎週水曜日に昼食用のおかずを作っ



て高齢者宅へ届けるもので、毎週月曜日締め切りで注文を受けています。

注文数は平均で130食程、水道光熱費や材料費などの活動資金

は利用券(支え愛チケット・1枚300円)の販売でまかなっています。また、「みんなの食堂」では、毎月第2土曜日に子どもたちに無料で、大人には200円で昼食を提供しており、平均80名の利用があります。

そして、「子ども地域クラブ」も実施しています。地域に学童保育がないことからその代わりとして毎月第2、第4土曜日に子どもたちが、宿題をしたり遊んだり自由に過ごす場を提供しています。

メンバーは、「みんなで料理して笑うのがなにより楽しみ」「ぜひほらとで、いい仲間に出会えた」と話しており、気負うことなく、楽しみながらボランティア活動に取り組んでいます。

ボランティアに興味が増えたきっかけは、楽しい老後を約束してへれると信じて活動をしています。



〈代表者〉坂口 喜作  
〈連絡先〉肝付町地域包括支援センター  
富満 千津美 TEL 0994-65-8419

このコーナーではすこやか長寿社会運動を実践され、いきいきと社会参加されている団体・個人を紹介しています。